

アッラーは なんでも ごぞんじ

クルアーンのなかで、アッラーは、ルクマーンさまがじぶんのむすこにいったことばをおしえてくださっています。

【わがむすこよ、たとえ、からしつぶほどのおもさでも、それがいわのなか、または てんのうえ、または ちのしたにあっても、アッラーはそれをさがしだされる。】(ルクマーン章 31:16)

アッラーは、すべてのものが、どこにあるかごぞんじです。くらやみのなか、くろいいわのうえをあるく、ちいさなありについてさえも、アッラーはごぞんじです。



きみが、ひとりでいて、まわりにだれもないとき、きみは、ほんとうにひとりかな？

きみが、だれかとふたりきりで、しゃべっているとき、ほんとうに、ふたりきりかな？



ひとが、ひとりでいるとき、アッラーが、みています。ふたりのひとが、はなしているとき、アッラーが、みています。さんにんのひとがはなしているとき、アッラーが、みています。ひとが、ともだちに、ちいさなこえで、ないしょばなしをするとき、ほかのだれかにきこえていなくても、アッラーにはきこえます。

アッラーは、あなたがいおうとしていることばを、それをくちにだすまえから、ごぞんじです。だれもみていないときでも、アッラーは、あなたのことをみています。

アル・アリーム **العليم** すべてを ごぞんじの おかた

アッ・サミーウ **السميع** すべてを おききになる おかた

アル・バスイール **البصير** すべて おみとおしの おかた

アル・ハビール **الخبير** すべてを しりつくす おかた